

大報
第31号

上野東部だより

2015年8月1日
発行
東部地域住民自治協議会
総務広報部会
伊賀市緑ヶ丘本町1681-8
上野東部地区市民センター内
TEL・FAX 24-3999



未来からの使者みんな あつまれ! 第二回親子の集い

地域みんなで子育てを

6月21日(日)午前10時～11時30分、上野東小学校体育館で東部地区民生委員児童委員協議会主催の「親子の集い」を昨年に引き続き開催しました。

午前9時半頃、地面をたたきつける大雨が降ってきましたが、しばらくすると雨も止み青空が見えて安心しました。参加者は、親子70組でした。会場はトンネルコーナーはじめ、10コーナーがあり、パネルシアターは初めての登場です。子どもたちは、両親の手をひっぱり笑顔で各コーナーへ広い体育館を所狭しと走りまわっていました。今年は父親の参加が多くみられました。

参加者の声を紹介します。

*「今日は雨で子どもと行く所に困っていました。家の前の親

子の集いの掲示板のパネルを見て参加しました。」

*「外で遊ばせるのは、日射病や熱中症の心配があるが屋内ですので安心です。」

*ペルー国籍の1才3ヶ月の女兒をつれた両親は「初めての参加です。ペルーにはこんなイベントはありません。皆さんと交流ができて良かったです。」

*「いろんなコーナーがあり親子と一緒に遊べて楽しい。子どもだけでなく、大人同士の心の交流もできたと思います。」等の声がありました。

無事、大成功で終わることができました。少子化の時代、未来からの使者である子どもたちの笑顔と元気な声は、将来への大いなる希望です。〈取材：鷹森 由紀子〉

役員構成

役職・役員名(所属団体組織名)

会 長	健康の駅長会 前 会 長	服 部 明	理 事	自治会長 (城北)	中 井 猛	理 事	前上野東部 民児協会長	平井つゆ子
副 会 長	自治会長 (上野田端町)	南 徹 雄	//	// (緑ヶ丘東町)	白井三十二	//	総務広報 会 部 長	縄手 稔
//	小中学校長代表	田中 伸一	//	// (緑ヶ丘中町)	上野 信行	//	健康福祉 会 部 長	高島 眞哉
//	東部老人クラブ 会 長	半田 政次	//	// (緑ヶ丘西町)	今高一三	//	環境保全 会 部 長	西口 保次
会 計	自治会長OB	佐藤 包治	//	// (緑ヶ丘本町)	秋葉 茂能	//	教育文化 スポーツ部会長	半田 政次
理 事	自治会長 (上野坂町)	海野 由生	//	// (緑ヶ丘南町1)	松裏伊三男	//	防災防犯 交通安全部会長	竹島 英喜
//	// (上野農人町)	米岡 秀之	//	// (緑ヶ丘南町2)	池澤 拓雄	//	人権啓発部会長 民生委員	米井 俊祐
//	// (上野伊予町)	阿波 弘康	//	// (服部団地)	辻井 眞理子	//	産業振興 まちづくり部会長	阿波 弘康
//	// (上野寺町)	山口 義美	//	自治会長OB	杉本 秀行	監 事	自治会長OB	房川 忠郎
//	// (上野玄蕃町)	岡本 章	//	健康の駅長会	湯矢 澄子	//	主任児童委員	深尾 千恵
//	// (上野赤坂町)	大原 清志	//	自治会長OB	堂山 敏夫	参 与	前公民館長	田山 干城
//	// (北平野)	藤岡 繁一	//	民生委員 児童委員	早瀬 福子	事務局長	公民館長	小西 也人



東部地域住民自治協議会
会長 服部 明

本年度新しく就任されました。

新会長より

〈光陰矢の如し〉とよく言いますが、まさに自分自身いつの間に? と思うことが度々ありました。この世に生を受けて、後期高齢の現在まで何物かに後押しされて、次々とすごしてきたような感じがしています。

十数年前に今の住居に越して間もなく住民自治協議会が発足し、今高前会長から副会長の任命を受けて会長の脇に寄り添いなんとか東部地域の皆様方と仲良くお付き合いを頂いて日々楽しく過ごしている間に、十年間は矢の如く過ぎ去りました。そしてまたぞろ運命の神か仏か悪戯を行い、伊賀で一番の人口を有する東部地域住民自治協議会の会長として、浅学非才の私ですが多くの失笑を感じながらも恐る恐る承諾をさせて頂きました。

今後は地域の皆様方のご協力とご指導のもと安全安心なまちづくり、市民センターの移転とともに若々しい元気ある地域づくりに邁進したいと思っています。どうか皆様方のより一層のご理解を心よりお願い申し上げます。

今高様、たいへん長い間お疲れ様でした。

長年にわたり東部地域住民自治協議会会長として活躍されました今高一三様が退任されました。大変ご苦労様でした。今後とも東部地域住民自治協議会発展の為、ご指導、ご協力よろしくお願い致します。

実行委員会(部会)活動

みなさまもこそってご参加を!

環境保全部会

矢谷川や市街地はきれいになってきましたが、まだまだ止まない不法投棄やタバコのポイ捨てには呆れ果てています。「ホタルの飛び交う川!」を合言葉に清掃活動していますが、一人でも多くのご参加をお待ちしております。

【平成27年度行事予定】

- ・クリーンウォーク
- ・環境講座
- ・先進地視察
- ・環境保全部だよりの発行



ぬのぞうりづくり

教育文化スポーツ部会

活動範囲が多岐に渡るところから、他の部会と似通った活動もあり、今後は予算の関係もあり、他部会と調整しながら活動を進めていきたいと考えております。

【平成27年度行事予定】

- ・スタンプラリー&ネイチャークラフト
- ・各種スポーツ大会
- ・新スポーツ講習会
- ・視察、講演会



カーリング大会

人権啓発部会

人権講演会や人権地区懇談会を開催することで、すべての人が人権について正しい理解と認識をもち、互いを認め合い、すべての人の権利を尊重するまちづくりを目指します。

【平成27年度行事予定】

- ・人権講演会
- ・人権地区懇談会
- ・人権視察研修会
- ・人権落語講演会



人権落語講演会

健康福祉部会

ウォーキングで健康づくりと地域の身守りを、コミュニケーションで頭の体操と情報交換を、「健康長寿」のまちづくりを進めます。

【平成27年度行事予定】

- ・ノルディックウォーキング
- ・健康測定
- ・健康ウォーク
- ・「健康長寿」のまちづくり



健康測定

防災防犯交通安全部会

第一に思いますのは、災害時における避難の方法、実際にどのようなことをすれば良いかということ、皆様で論議して考えていきたいと思っています。これらを実行に移すにはどうしたら良いかと考えていきたいと思っています。

【平成27年度行事予定】

- ・パトロール
- ・タウンウォッチ
- ・自主防災訓練
- ・防犯講習会
- ・交通安全講習会
- ・先進地視察



自主防災訓練

産業振興まちづくり部会

伊賀・大和街道「灯りの芭蕉路」の協賛事業や紀伊長島港直行の魚や地元産の野菜・果物等「新鮮市」に取り組みます。

【平成27年度行事予定】

- ・大和街道「灯りの芭蕉路」
- ・新鮮市
- ・先進地視察



伊賀上野灯りの城下町

総務広報部会

読まれる広報、愛される広報、待ち望まれる広報を目指して部会員一同がんばります。

地域会員の皆様方の情報提供、ご意見を市民センター事務局にご一報よろしくお願い致します。



東部だより

*各部会の日程については、
回覧等で随時お知らせします。

歴史的にも味わいがある町

わが玄蕃町は、旧上野町の北部にあって、広小路通りから北へ県道をはさんで細長く市役所、郵便局、広小路駅、図書館と近くて便利な上、歴史的にも味わいのある町です。

芭蕉ゆかりの「さまざま園」、また土塀が残る「下級武士屋敷」最近文化財の指定を受けた「中森邸」等江戸時代の痕跡が残る町です。上野観光コースにもなっており、案内される「語り部」さんの言葉を借りれば伊賀市の町名で唯一人名をもって名づけられている町名だそうです。(藤堂玄蕃の屋敷があった)

近年いちじるしく変化し新しい住宅も増えましたが、新旧のたたずまいもまた楽しいものがあります。



さまざま園(個人所有のため入園不可)



下級武士屋敷(個人所有のため入園不可)



隣人愛に満ちた明るく楽しい町づくり

自治会活動、老人クラブ活動共にまわっております。お隣りどうしが掃除をし合ったり、留守番を頼んだり、昔ながらのご近所付き合いのある町で、それらにうらうちされて町民親睦旅行にも老若男女の参加多数、楽しいものです。老人クラブは毎月、「話そう会」「お誕生会」を行い折にふれて社協の協力を得て特別企画もあったりしてよく集い、より楽しく親睦を計り生きがいを感じております。8月には町内に安置されている「延命厄除地蔵尊」の地蔵盆を老人クラブを中心に行い町民の健康と延命を祈念しております。またカラオケ愛好家による「カラオケクラブ」も充実しており、懐メロや新曲にも挑戦してより楽しんでおります。

歴史の重みの中で明るく町づくりを実施して楽しい町にしたいとみんなで和合協力をモットーとして活動しております。



親睦旅行



町内清掃

(寄稿: 自治会長 岡本 章)

緑ヶ丘本町児童福祉会

地域のつながりを大切に

緑ヶ丘本町児童福祉会は、現在52人の会員で活動をしています。春に六送・一迎会、夏に俳句教室や、子ども夏祭り、少年野球大会への参加、冬にはスケート大会、ボーリング大会、世代間交流を行い、一年間を通して、子どもたち同士や地域の方との交流の輪が広がるようにと、活動を進めてきました。

俳句教室・夏祭り

春に新入生を迎え、夏休みには、毎年地域に在住の先生を招いて、俳句教室を開いています。夏休みの「俳句作りの宿題」は、松尾芭蕉の出身地伊賀ならではのものです。

この俳句教室では、「俳句の作り方」や「季語の使い方」の基本を教えてください、先生に子どもたちの作った「俳句の添削」をしていただきます。

また、先生は毎年、子どもたちの詠んだ俳句一首に絵を添えて「絵手紙風のうちわ」を作ってください、そのうちわは、青年会主催の「子ども夏祭り」で展示もされるため、俳句作りを楽しみにしている子どもたくさんおられます。

子ども夏祭りには、青年会のみなさんを中心に、地域のみなさんと福祉会も協力して、バザーやくじ引き、金魚すくいなど、子どもたちの楽しみにしていることが盛りだくさんの催しです。



野球大会・世代間交流会

毎年6月土・日の早朝より、8月の野球大会に向けての練習が始まります。それまでボールやバットに触れたこともない子も、監督、コーチ、先輩に一から教えてもらい、はじめはボールを怖がっていた子も、野球のルールを覚え、キャッチボールもできるようになります。ここ数年は、残念ながら初戦敗退ですが、2011年には準優勝し、ミニ甲子園にも出場しました。小学校、中学校、高校生の先輩も練習を手伝いに来てくれる姿に、子どもたちもいい刺激を受けています。

また冬にはひまわり会さん、老人会さんと一緒に「世代間交流会」を行っています。地域のおじいさん、おばあさんたちに「コマ回し」や「将棋」「あやとり」などの昔の遊びを教えていただいたり、臼と杵を使って、お餅つきをしています。

子どもたちは、「コマが回せるようになった」「将棋のやり方がわかった」と喜んでいます。特に、お餅つきは、臼や杵を初めて見る子、つきたてのお餅を初めて触る子もいて、貴重な経験をさせていただいて本当にありがたいです。「つきたてのおもちっておいしいな」と子どもたちも自然と笑顔になります。ひまわり会、老人会のみなさんが、たくさん準備をしてくれるので、子どもたちも安全で、とても楽しい時間を過ごすことができます。

このように、季節の様々な行事を通して、子どもたちは、学年を超えて仲良くなっていき、そこにはいつも地域の方の協力やあたたかいまなざしがあります。これからも、地域のみなさんのつながりを大切に、活動が続けていきたいと思います。

(寄稿：緑ヶ丘本町児童福祉会 前会長 曾和ひとみ)



地区市民センターの運営等について市が提示

4月28日、市が提示した「市民センターの運営等のあり方」について、当自治協の意見をまとめた下記資料(抜粋)を地域づくり推進課に提出しました。



①住民自治協議会ごとに運営方法を決める。(委託・指定管理制度の運用開始は平成28年4月)

・住民自治協議会は、住民の自発的発想に依拠したものではなく、専門的知識を有する学識者の見識のもと、住民の労役の提供によって財政負担を軽減することを目的の一つとして導入されました。

地区市民センターの業務中、住民自治協議会に関する業務が7割以上を占めており、将来的に業務内容を整理する方向であることを考慮すれば、職員の業務分担を複雑化しないために、同一職場同一の雇用形態が望ましいと思われることから、直営は避けるべきと考えます。

指定管理委託は、施設の管理運営経費の大半が人件

費と施設維持管理経費で、そこに市場原理や効率性・採算性を高められる要素は限定的であると思われ、むしろ人件費削減や住民サービス低下(手抜き、高負担)を招きかねないと思われます。

これらに対し、「職員を住民自治協議会で雇用+行政業務の委託」は、職員の雇用、労務・税務事務等の事務量が増えるが、職員の同一雇用形態が確保されることや施設管理責任者が市となることで事務負担の増加が過重とならないと推量されることから、最も望ましい運営のあり方と判断します。

②上野地区の職員数は28年4月から所長・事務員の2名にする

・これまでの公民館主事の業務実態は、単に分館業務だけではなく、その殆どは住民自治協議会事務局業務等を含む市民センター業務に従事してきたのは周知のとおりです。今回、分館の位置づけは廃止されるとはいえ、社会教育としての活動については、これまでと同様に継続されるとのことであり、業務の減少要因としては小さく、む

しろ近年では、市が直接行っていた文書発送業務等が増しているだけでなく、行政事務委託方式に運営方法が変更されると新たに労務・税務等の事務負担も増加することが想定されるので、市民センターの住民サービスを維持するには現有職員数の確保は不可欠です。

③地区市民センターの公用車の廃止

・私用車の公用使用は、業務執行上どうしても公用車が確保できない場合に臨時的に対応する制度であると思います。安易に経費削減を目的として導入することは望まし

い方策とは思えません。自動車による連絡業務や文書配布業務は地区市民センターの重要な業務の一つです。引き続き公用車の配備をすべきと考えます。

④地区市民センター施設利用料金の徴収(平成28年4月)

・地区市民センターは、地域住民が良好な地域社会の形成に寄与することを目的として設置されたことから、その運営経費は全額、税金が充てられてきた。その利便性の良さに乗じて、複数日に会場確保するなど安易に施設利用が行われるなどの弊害も生じてきていることも事実です。

施設の運営経費の負担は、公共団体や管理運営団体が公共的目的に利用する場合や教育・保育等の一定の利用目的以外は、住民の利用する人と利用しない人の公平性を図るべきであり、将来的には受益者負担の原則を導入することは容認されるものと思われます。

上野中分団第3部に小型動力ポンプ(B3級)配備

3月1日、消防本部で「26年度伊賀市消防団資機材引渡し式」が行われ、消防施設整備計画に基づき上野中分団第3部に小型動力ポンプ(B3級)が配備されました。

5月17日、緑ヶ丘東町公民館広場に於いて新型小型動力ポンプを使い放水訓練を実施、ポンプの操作方法を一つ一つ確認しながら習得しました。

消防団では毎月資機材の点検を行い放水訓練を実施しています。



編集後記

ミレニアムベビーと言われた2000年生まれの子どもたちも、今年は高校受験生。時の流れは早いものです。子どもの頃、「21世紀は、どんな世の中になっているのだろう」と思ったこともありましたが、便利なものや驚かせる技術が本当にたくさん生み出されています。しかしこの時代を作ってくれたのは先人の努力でもあることを私たちは決して忘

れてはいけなんでしょう。東部地区においては、新しい地区市民センターの建設が計画されております。そのひとつにおいても、さまざまな方のおかげと感謝したいと思います。2015年の夏もみなさんにとってすてきな毎日になりますように……。今年度も東部だよりをよろしくお願い申し上げます。

(佐山 雅代)